

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	坂田 温
	全体計画			経費区分	-	内線	245-1770
事務事業名	16196 臥竜公園施設整備事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	16023100 良好な景観要素の保全と育成の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費					
	事業	980000 臥竜公園施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
2031年の竜ヶ池開池100周年を踏まえ、臥竜公園の市民の憩いの場としての魅力ある環境整備を進める				緊急防災・減災事業債や信州すざかふるさと応援寄附金を活用し、臥竜公園の次世代に残す魅力向上施設整備を進める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館前公衆トイレの和式トイレを洋式トイレ等に改修。 ・ 臥竜公園の次世代に残す魅力向上施設整備を実施。 	臥竜公園管理事業で進める
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
臥竜公園管理事業で進める	臥竜公園管理事業で進める
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
臥竜公園管理事業で進める	臥竜公園管理事業で進める

指標名	須坂市動物園入園者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	
	実績						
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないので動物園の来園者を指標にする。						
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定						
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		4,392	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	2,500	0
	その他	0	0
一般財源		1,892	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	696.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	696.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		5,088.8	0.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	4,392	工事請負費4,392
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の憩いの公園であり、県内はもとより国内外からも多くの観光客が訪れる公園として、魅力アップ対策を進めることが市全体の経済効果や活性化に波及できる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	予てからの課題（魅力アップに等）について解決が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	施設整備には多額の費用が必要であり、補助金等を活用し財源を確保し施設整備を進めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 施設整備には多額の費用が必要であり、補助金等を活用し施設整備を進めることが必要。 官民連携リノベーションによる活性化事業と整合しながら整備を進めることが必要。

